

第九たいはず *Beethoven*

No.18 2016.9.29 通刊1208号 担当 幸代

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

はっきりしないお天気が続いています。また暗くなるのが早くなりましたね。大雨のときの夜の運転が苦手になって来ました。皆さんも行き帰りお気をつけて練習に参加してくださいね。

◆ 第43回ソリスト紹介② メゾ・ソプラノ 林美智子(Michiko Hayashi)

＜高崎第九合唱団との共演は第30回(2003)、第33回(2006)に続き3回目＞

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003 年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演、2015 年には「オリンピーアデ」のアルジェーネ、「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。チョン・ミョンフン、パヴァー・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ねる。



◆ 演奏会チケットを配布しています

先週から演奏会のチケットを配布しています。まだ受取っていない人は受付に申し出てください。受取ったら必ず席と枚数の確認をしてください。このチケットの売り上げにより群響、指揮者ソリスト、会場費、プログラムなど印刷代、夕食代等全ての費用を賄っています。出演者全員で均等に分担することにもつながっています。自分たちの演奏を周囲の人に、聴いて、観て、楽しんでいただくために演奏会を積極的にアピールしていきましょう！先週赤羽団長からお話しがありましたが私たちの演奏会です。一人一人が売るという努力をしていきましょう。

チケット代の清算についてチケットは何枚かまとめて清算するのではなく1枚でも売れたらその都度、代金、封筒を持って受付で清算してください。私たちのコンサートです。音楽センターをお客様で満杯にしましょう！！

◆ 第43回第九演奏会のチラシ、ポスターができて上がっています！

第43回第九演奏会のチラシ、ポスターができて上がっています。皆様にお渡しできるように致しますので、ポスターを貼ったり、チラシを友人知人に配るなどコンサートの宣伝をしていただき、第九の輪を広げていきましょう。検印が済んでいるポスターは屋外に貼ることができます。

(貼る場所は必ず許可を得て貼り、演奏会終了後は貼ったままにせず、剥がすのも忘れずに行ってください。皆さんで協力して宣伝していきましょう！)

◆ 広告について(締切り10月27日(木)) 担当:アルト原高峰

演奏会のプログラムに掲載していただける企業やお店等募集しています。

◆ すみだ5000人の第九参加者募集 本日締切りです 担当:バス 深町

舞台は、あの両国国技館！日本全国・海外からも第九好きの仲間が集い、大合唱をします。合唱団5000人、お客様も5000人。とてもビッグでこの合唱の輪が全世界に響け！と叫んでいるようです。参加費(いわゆる団費)7500円です。交通費、ちゃんこ鍋代(終了後参加者有志でちゃんこ鍋で打ち上げをします)は別扱いです。開催は2017年2月19日(日)です。

ただ今、申込用紙にて受付中です。バス深町さんまで。

◆ 合宿の申し込み受付 本日締切りです

11月5日(土)～6日(日)武蔵野音大軽井沢研修センターで行う合宿の申し込みを開始しています。所定の申込用紙に8000円を添えて申し込んでください。是非とも多くの皆様に参加していただき、12月の演奏会に向けて仕上げてまいりましょう。

◆ 来週10月6日(木)は駐車料金の精算日です

精算される人は練習が始まる前に受付に提出できるよう少し早めに来ていただくと助かります。この日精算できなかった人は次回は11月3日(木)になります。

◆ イベント情報

★“むさしの”歌のコンサート 10月1日(土) 14:00開演

軽井沢 大賀ホール @2,000円(全自由席) メイコンサートに出演していただきました出来田三智子さんが出演されます。チケットご希望の方はソプラノ飯島さんまで。

◆ 今後の予定

11月5日(土)～6日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)

11月24日(木) 指揮者レッスン(渡邊一正氏が練習会場で指揮をします)

12月10日(土) 第43回第九演奏会(群馬音楽センター)

12月18日(日) 足利の第九(男声の応援をお願いします。詳細は後日連絡します)

平成29年

1月12日(木) 新年会・歌い初め

5月28日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)

◆ 演奏会に向け新人さんより抱負②

バス 樋口晋さん

「歌が好きなら、第九の演奏会聞きに来ない？」すべては、会社の先輩の木村さん(旦那様の方)の一言から始まりました。酔っぱらってカラオケ歌うのは大好きですが、クラシックは…。でも、せっかくだから…と聞きに行くと、普段会社では見られない、楽しそうな木村さんの表情！団員の皆さんの生き生きとしたお顔！すばらしい指揮者とソリストの方々・群馬交響楽団の演奏！それらと合唱のハーモニーを聞き、歌えるようになりたいと思い、入団致しました。

練習は、最初はなかなか歌えません。でも、赤羽先生はじめ、ご指導くださる先生方、先輩方のおかげで、徐々に歌えるようになってきたと思います(まだまだですが)。又、赤羽先生が第九の歌詞の意味と音楽表現のポイントをキビシク、時にユーモアを交えながら教えて下さり大変楽しい練習です。12月10日まで3ヶ月を切りました。がんばって暗譜して少しでも先輩方に追いつきたいと思っております。宜しくお願い致します。



◆ 群馬県立近代美術館企画展「美術と音楽」

音楽をめざす美のころみ

赤羽洋子

9月17日から11月13日まで開催されている美術展です。五線や鍵盤が図形化されているチラシを手にした時、瞬間に消える音楽と時間が経っても消えない芸術の融合に興味を持ちました。展示作品は①一つの主題と二つ世界、ドラクロワ「ファウスト」はオペラ。「ダフニスとクロエ」はバレエの世界。②音楽から美術へ、クリンガー「昔の恋」楽譜そのものが絵画で表現されていました。③音楽のある情景デュフィ「Mozart」。泉茂「ラ・ビアン・ローゼ」作品題名が内容を表現しています④音楽への誘い鶴岡政男「リズム」美術でリズムを表すところだと納得、ファビガン「ウィーン」ポスターで音楽会に誘われます⑤音楽と美術の出会うところ。武満徹「弦楽のためのコロナ」作曲家が美術家に挑戦。と言う5つのテーマに分けられています。

二つの芸術融合には多少の無理を感じつつ楽しんで来ました。

久しぶりに訪れた群馬の森は、前日までの雨に洗われた芝生の緑が何とも清々しく心と和みましたし、どっしりと成長した木々は自分の住処を強調するように大地に根を下ろしていました。身近に有り過ぎて価値を等閑にしてしまった美術館、もっと大切に訪れたいものと後悔しきりです。

* 等閑の意味は、ものごとをいい加減に見過ごすこと。なおざり。